

海運と

気候変動

日本海事センター 企画研究部 主任研究員 森本清二郎



⑤

国際海事機関（IMO）に価格を付けるGHGについては国際海運からの温室 ガス（GHG）排出 効果ガス（GHG）排出 いるが、欧州連合（EU）50年に炭素中立を達成

EUの削減目標（2030年に90年比55%減、50年に炭素中立）を達成 船社は毎年、EUA発 減目標の設定、経済的 着船から生じるGHG排 法の導入）の仕上げの部 出量に相当する排出枠 分に当たり、EUにとっ 償割当ではなく、全て有

からEU加盟国にノルウ エー、リヒテンシュタイ ン、アイスランドを加え た30カ国からなる欧州経 済領域（EEA）の発着 船を対象に規制が始まっ ている。 本規制は欧州委員会が 13年に発表した「3段階 アプローチ」（燃料消費 実績報告制度の導入、削 場安定化措置の導入から 置が海運に広がった点が ンディールの中核的措 なる。EUでの先行的な 地域規制は、ダブルスタ

出量の40%、25年は70%、 26年以降は100%が償 却義務の対象となる。 割、総排出量7億トンの2 割を占める。 次、域内産業の競争 力の強化を図る欧州グリ ンディールの中核的措 なる。EUでの先行的な 地域規制は、ダブルスタ

万トに上り、国際海運の 船舶数3万5千隻の3 割、総排出量7億トンの2 割を占める。 次、域内産業の競争 力の強化を図る欧州グリ ンディールの中核的措 なる。EUでの先行的な 地域規制は、ダブルスタ

EU、海運分野で進む

カーボンプライシング



では既に海運 分野のカーボ ンプライシン グが実施され ている。 欧州委員会 は2021年 改正を提案。 同案は23年 に採択されてお いる。 対象となるのはEEA内 での生じた全 排出量とEEA 内外の港湾間 を結ぶ航海で 生じた排出量 の2千隻、二 酸化炭素（C 強度規制（F ueilEU と併せて、

は既に海運 分野のカーボ ンプライシン グが実施され ている。 欧州委員会 は2021年 改正を提案。 同案は23年 に採択されてお いる。 対象となるのはEEA内 での生じた全 排出量とEEA 内外の港湾間 を結ぶ航海で 生じた排出量 の2千隻、二 酸化炭素（C 強度規制（F ueilEU と併せて、

（EUA）の購入・償却 義務付けられる。 規制 対象となるのはEEA内 での生じた全 排出量とEEA 内外の港湾間 を結ぶ航海で 生じた排出量 の2千隻、二 酸化炭素（C 強度規制（F ueilEU と併せて、

海運分野での化石燃料か らの脱却を促す推進役と しての期待がある。 域内産業の競争 力の強化を図る欧州グリ ンディールの中核的措 なる。EUでの先行的な 地域規制は、ダブルスタ

海外・地域・新事業

最後に、IMOでの規 制導入の後押しとなっ ている点。グローバルな 業である国際海運で公平 かつ実効的にGHG削減 を進めるためにはIMO での規制導入が不可欠と なる。EUでの先行的な 地域規制は、ダブルスタ